

# 福岡銀行における ITの戦略的活用について

平成19年1月12日

福岡銀行 IT統括部

# 目次

---

- |                |     |    |
|----------------|-----|----|
| 1. システム共同化の概要  | ・・・ | 4  |
| 2. 融資支援システムの概要 | ・・・ | 14 |

# 福岡銀行の概要

平成18年3月末現在

福岡銀行	
本店所在地	福岡市中央区天神二丁目13番1号
創業	明治10年9月
代表者	取締役頭取 谷 正明
預金残高	6兆5619億円
貸出金残高	5兆1149億円
店舗数	国内本支店 158 出張所 9 海外駐在員事務所 3
従業員数	3,031名
自動化機器	CD/ATM 1,222台 為替振込機 8台
営業店端末	1,374台

※従業員数：出向者・嘱託・海外現地採用者を含まない  
※自動化機器台数：提携先の設置分を含まない

# 1. システム共同化の概要

# システム共同化の狙い

## 経営戦略上の課題

## □システム戦略の再構築

- ー情報系システムを中心に機能強化
- ースピーディーな開発体制確立
- ーシステムコストの抑制

## システム共同化の狙い

☆お客様のニーズに応える新商品・新サービスを迅速に提供できる競争力のある基幹システムを早期に構築

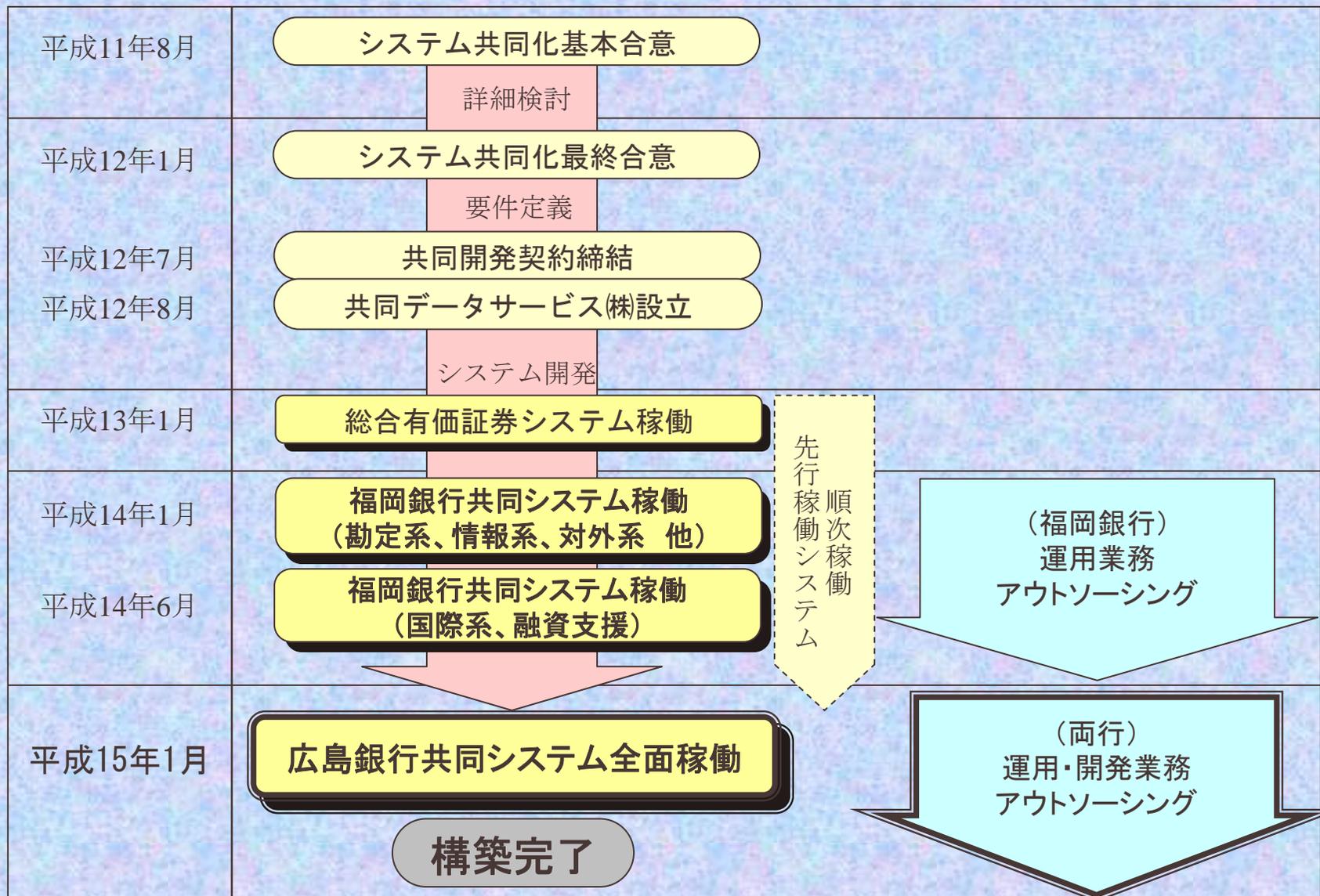
☆システム関連経費の大幅な削減

☆共同化により生じる余力を、今後飛躍的に増大する新たなIT戦略に積極的に投資

## 基本コンセプト

より良いシステムを早く安く

# システム共同化の歩み



# システム構築の概要

両行の先進システムをベースとし、かつ  
新規機能を付加した共同システム基盤を構築

## 福岡銀行システムベース

- ・勘定系システム
- ・証券システム 等

## 広島銀行システムベース

- ・対外系システム
- ・国際系システム 等

## 新規構築システム

- ・融資支援システム
- ・MCIF 等

## システム構築に要した期間・コスト・開発規模

### 構築期間

3年6か月

### 投入コスト

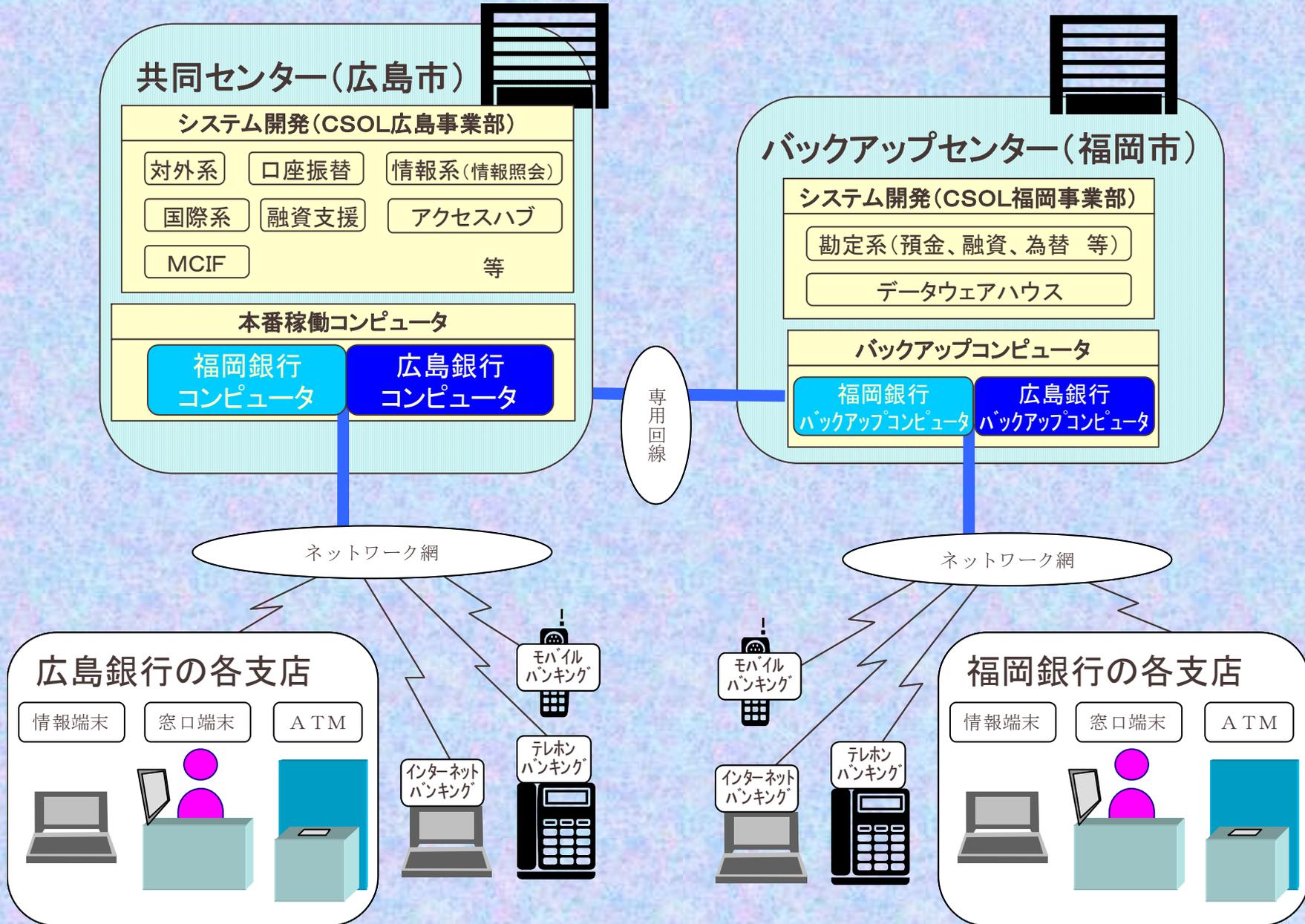
180億円

### 開発規模

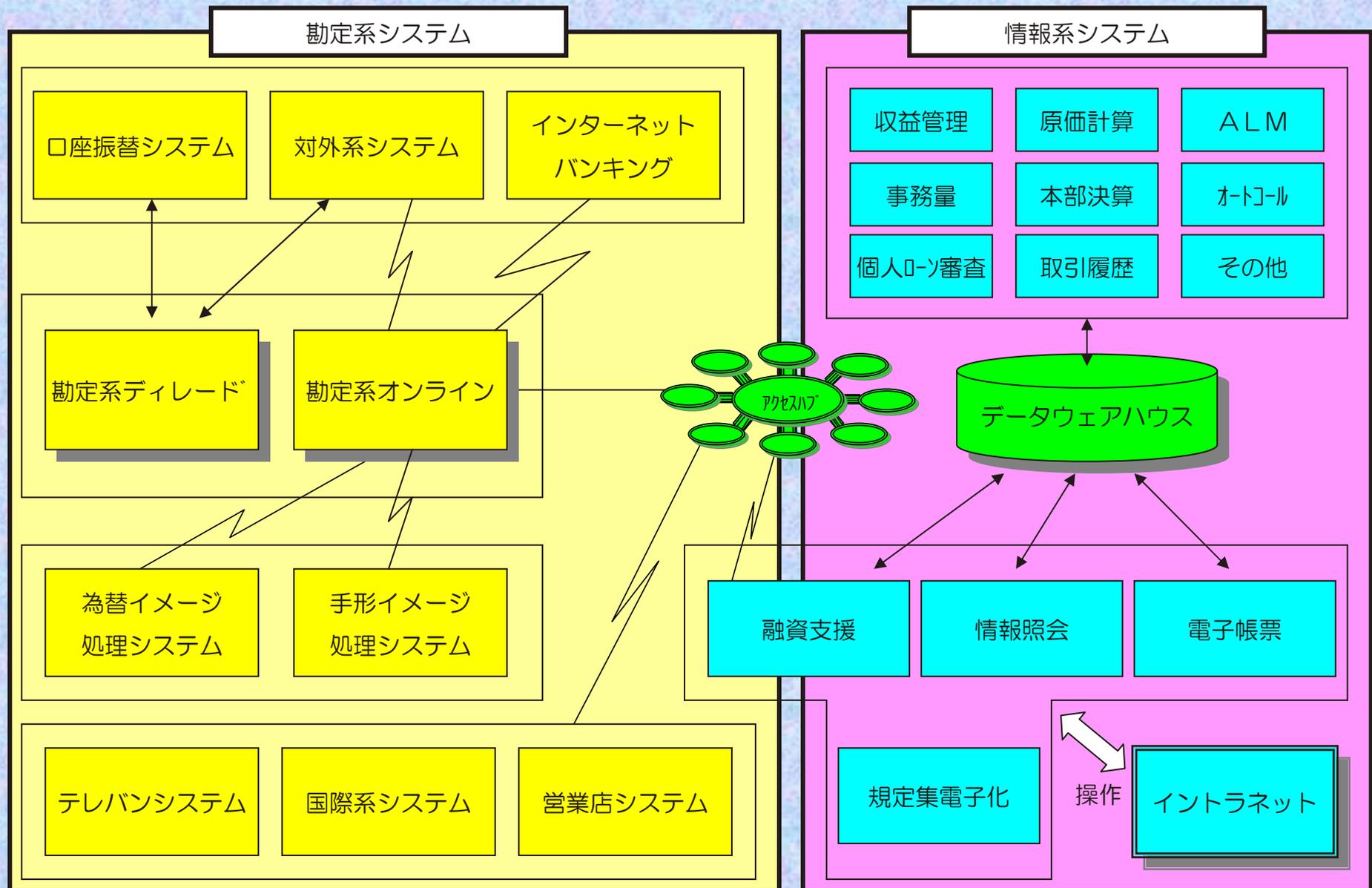
1万3,000人月

広島銀行は銀行システムの中核である勘定系システムの  
全面更改・事務取扱手続の全面改訂

# 共同システム概要図



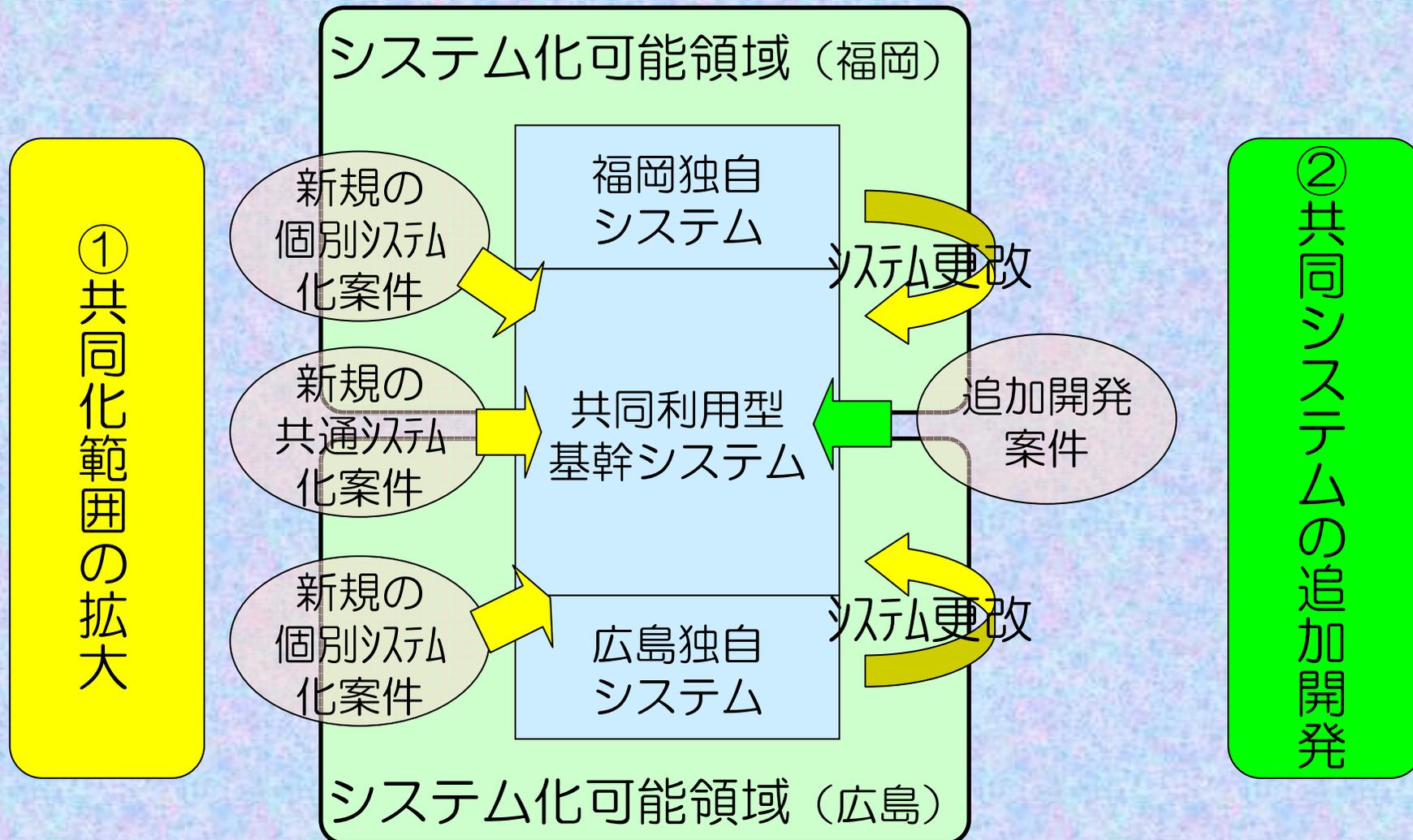
# システムの構成



# 共同システムの狙いと実現機能

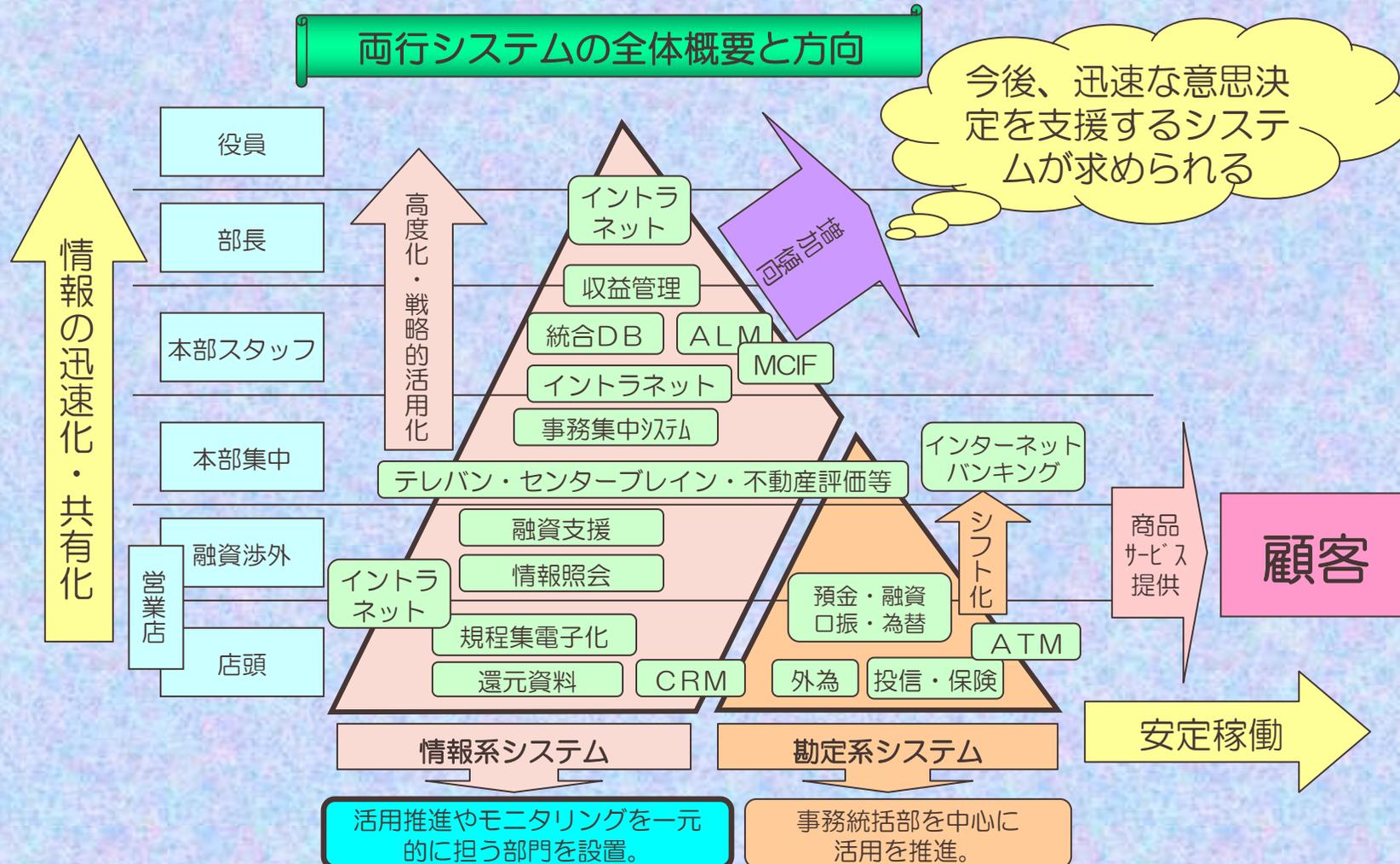
狙い		主な実現機能
競争力の強化	新サービスへの対応	(1)24時間365日稼働のインフラ整備（ただし土、日夜間休止） (2)ATM取引の機能拡大（暗証番号変更、総合口座定期預金解約機能を追加）
	セールス支援機能の強化	(1)情報系システムの再構築（顧客情報、計数情報などのデータベースを整備） (2)窓口、渉外、テレバンなどの取引情報を連携したCRM機能の実現 (3)テレバン・テレマの機能強化（投信販売、ローン商品の拡大等、サービス機能の追加）とシステム一体化による連携強化
合理化・効率化の推進	融資業務の効率化	(1)融資支援システムの構築により、審査の精度向上と審査プロセスのスピードアップ および稟議承認内容の登録作業省力化など融資業務を効率化 (2)個人ローンの本部切り集中化による営業店事務の軽減
	営業店事務の改善	(1)新営業店システムの導入により端末オペレーションを効率化 (2)勘定締上げの改善による営業店事務効率化 (3)規定電子化システムの導入により営業店での利便性を向上
リスク管理の強化	事務リスクへの対応	(1)取引承認ならびに確認権限のオンライン管理化 (2)オペカードの改善（取扱者の取引金額制限、取扱者を取引票へ印字） (3)重要用紙管理の厳正化（責任者・担当者間の授受のオンライン化）
	システム安全性強化	(1)災害バックアップセンターの設立（勘定系システムは24時間以内に復旧）

# 共同システムの継続的拡大

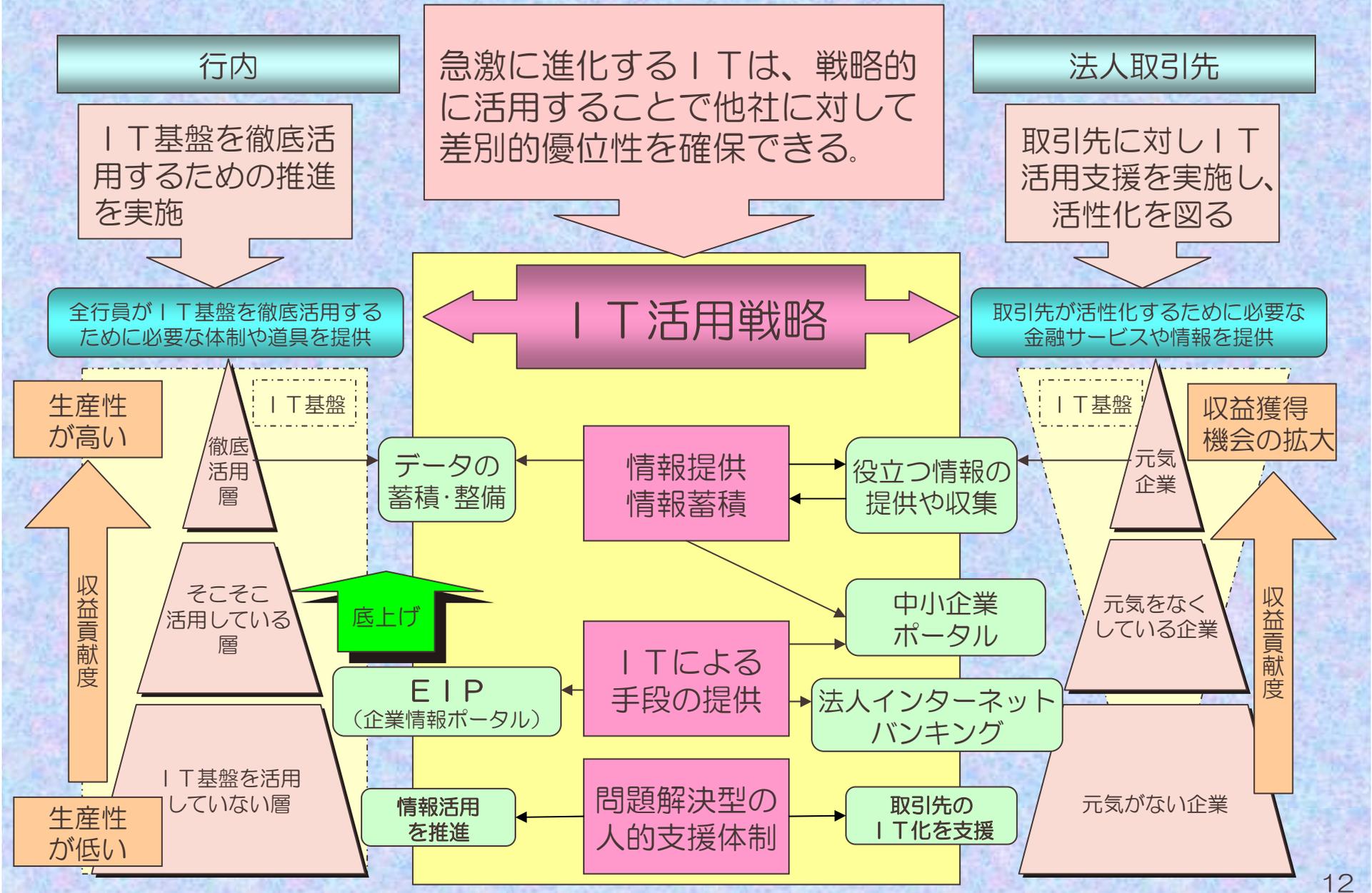


# 共同システムの徹底活用

共同化により競争力のあるシステム基盤が完成

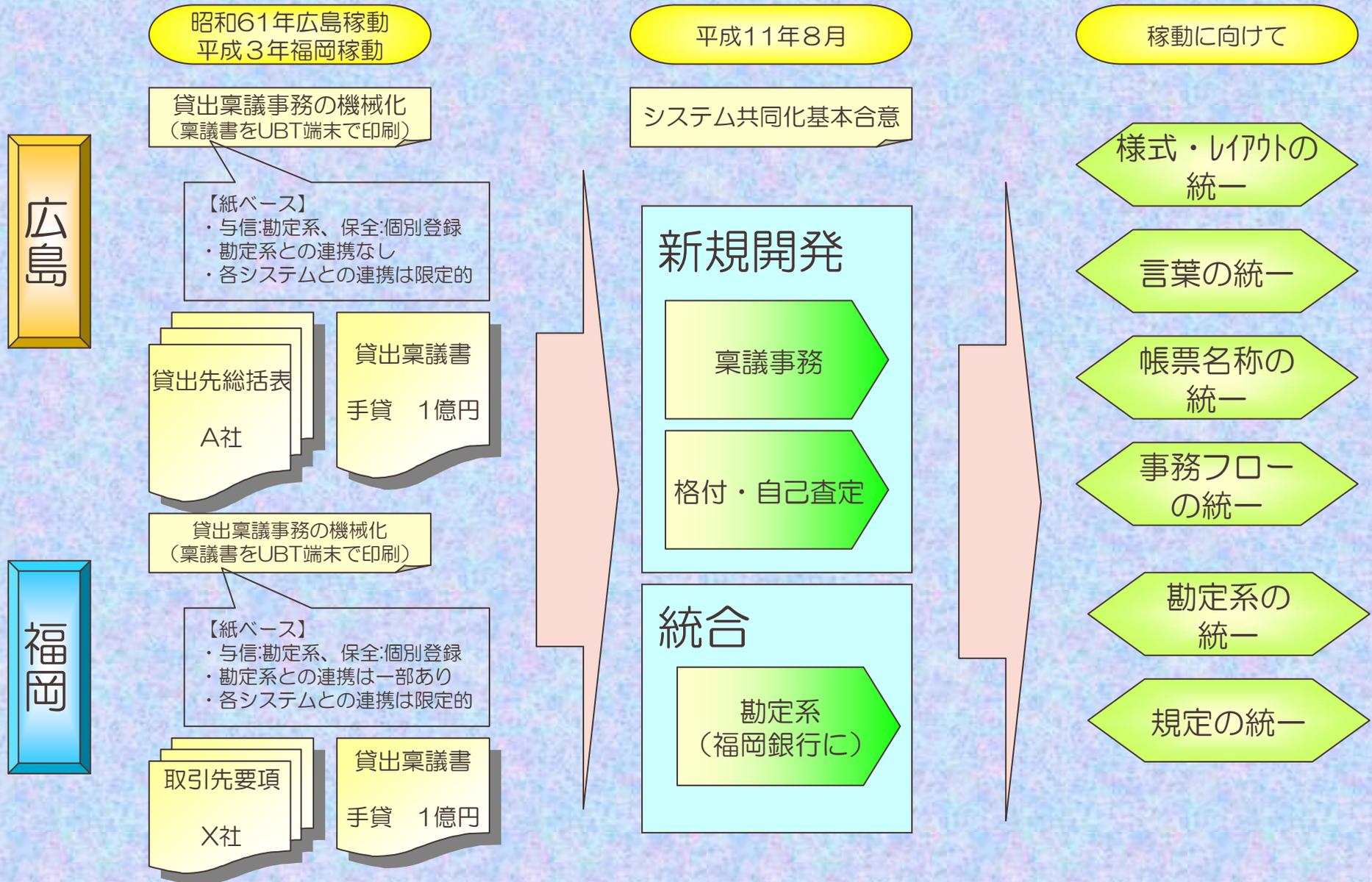


# 共同システムの徹底活用



## 2. 融資支援システムの概要

# システム開発の経緯



# 融資支援システムの狙い

## 審査プロセスの スピードアップ

- 融資事務に、  
ワークフローシステムを導入  
(業務プロセスのシステム管理)
- 稟議書をはじめ、格付申請書  
や自己査定資料の搬送時間が  
無くなる。

## 融資業務の効率化

- パソコン上で、  
殆どの融資事務が可能
- 案件受付段階から、  
決裁、実行、事後管理まで  
をシステム管理
- 稟議書等の保管・管理の  
システム化

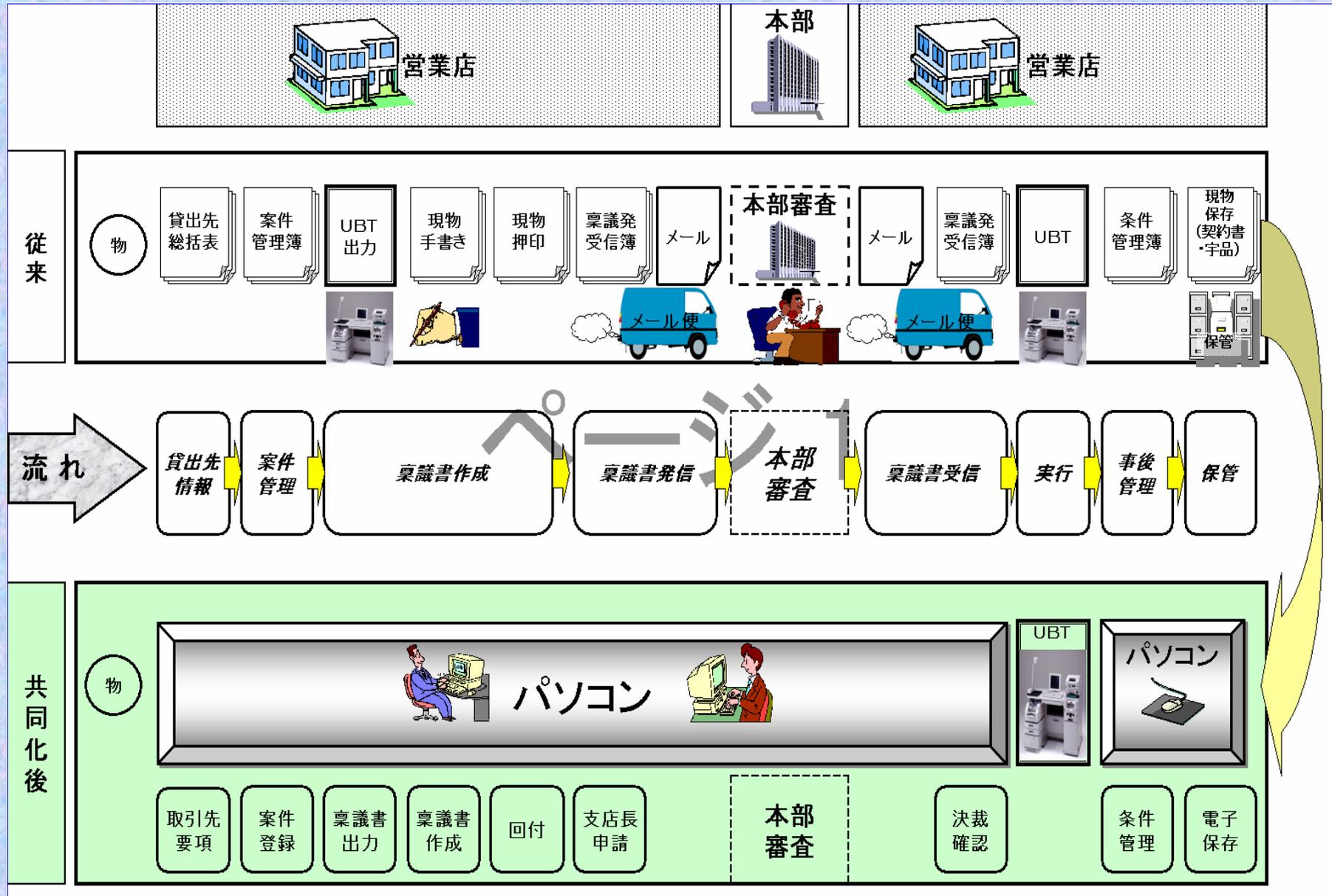
## 信用情報の データベース化推進

- 情報の登録・管理  
(氏名等により検索/照会可能)  
〔
  - ・取引先(債務者)情報
  - ・保証人情報
  - ・仕入先販売先情報
  - ・商手支払人情報〕
- 帝国データバンクの情報(評点)や、  
株価・外部格付情報との  
データ連携

## 信用リスク管理 の強化

- 格付・自己査定の業務統合(詳細検討中)

# 新旧の事務フロー

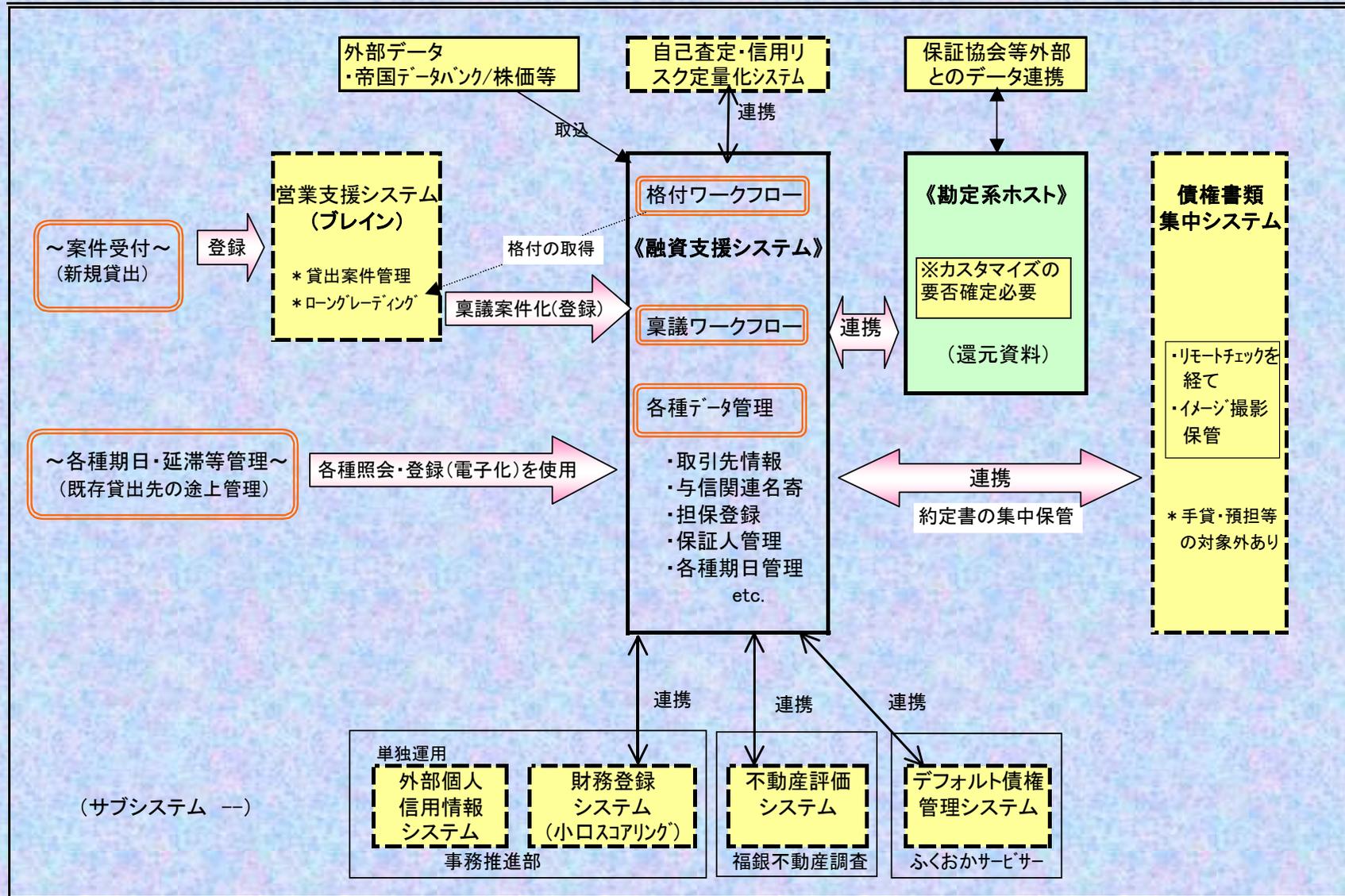


# 融資支援システムの概要

No	システム名称	備 考
1	融資統合データベース（データウェアハウス）	融資業務情報を一元管理 （債務者属性/稟議/格付...をデータベース化）
2	稟議支援システム	貸出稟議書の電子化・ワークフロー化 稟議書のシステム保管 等
3	取引先要項システム	債務者の基本情報を登録・管理 本部/営業店で照会できる
4	保証人管理システム	保証人情報のデータ登録・管理 氏名による照会可、保証履歴を蓄積
5	財務情報システム	財務情報をパソコンから照会
6	担保管理システム	担保情報一元管理 有価証券価額を日々反映
7	不動産担保管理システム	不動産担保管理システムと データ連携
8	格付自己査定システム	信用リスクに関する定量的・経常的 データを融資支援システムと連携
9	デフォルト債権管理システム	実質破綻先以下の情報管理と 二次査定支援

# システムの構成

## ○融資業務とシステムの概要



# 稟議のワークフロー

